

今回は私が活動している消防団についてご紹介したいと思います。
消防団が行う 主な活動内容としては、以下のものが挙げられます。

1. 消火活動について

火災や風水害等の災害、有事の際には、自宅や職場から 消防団の詰所(屯所)に配備されている消防車に乗り、または直接火災などの現場に駆け付け、周辺住民の避難誘導、投光器設置、消防団本部の指示に従い行動します。

2. 救助活動について



地震などの際には、一気に消防への救助要請が殺到し消防団本部だけでは対応できなくなり、地元の消防団は、倒壊した家屋の中から住民を迅速に救出するケースもあります。また、被災都道府県が設置する救援物資集積拠点から、消防団の消防車で住民が避難している各地域の避難所に向けて救援物資の緊急輸送なども行う場合もあります。災害対策基本法及び国民保護法が適用された場合には、市町村長の指揮を受けた消防団長の指揮に基づき住民の避難誘導にあたります。



3. 水防活動

消防団は、兼任水防団として水防活動も行う場合もあります。(消防団として水防活動を行う場合もある。)具体的には、台風等の豪雨時の巡回や土嚢積みなどあります。

4. 防火・啓発活動

一般的には1月の月上旬～中旬にかけて、東久留米市消防団出初式を行います。東京消防庁など自治体の消防団本部と共に出初め式を行い、消防団員や消防車両による観閲行進などと共に一斉放水があります。地域によっては、地元の花火大会や盆踊り、祭礼、餅つき大会、成人式 など、地域のイベント時に 防火警備、誘導、交通整理や清掃などのボランティアで協力することもあります。平常時においては消防操法等を通して災害救助等に必要な技術の修練を行うとともに、年1回程度応急手当等の講習も受けるほか、地域の防災会議への出席及び避難訓練等を通じて、広報並びに啓蒙活動も行われています。地域の小・中学校や幼稚園、保育園などと共に 防災訓練・防災教室(写生会)などを定期的に開催し、防火教育・防災啓発活動を行います。防火パトロールで夜警や広報活動を行う際には、住民への注意喚起のため電鐘を吹鳴することがあります。

5. 救命講習

応急救護活動の基本となる心肺蘇生、AEDの使用法、窒息の手当、止血の方法の習得・習熟の講習を受講する機会があります。

6. その他

都度集まり点検や会議を行い、いざという時に万全の備えで出動出来るように準備しておきます。また、地方へ行き研修も年に一度行っております。



東久留米市には1分団～10分団の消防団があり、私が所属しているのは8分団です。それぞれの分団に個性があります。私が所属している分団もサラリーマンの方、自営業の方、俳優の方がいたり個性たっぷりの楽しい方々がありますが、いざという時には地域(一部清瀬市も含む)の安全の為に皆さん本気で活動しております。もし、ご興味がございましたら一緒に活動してみませんか？
消防団はいつでも志のある方をお待ちしております。

2021-2022年 総集編 市政報告

無所属 会派:ニューウェーブ

東久留米市議会議員

ひきま 太一 たいち

ひきま 太一 プロフィール 昭和59年9月24日生まれ 37歳 (AB型)
千葉県立佐倉西高等学校 卒業、成田つくば航空専門学校 卒業
2019年4月東久留米市議会議員選挙にて1853票をいただき初当選。
東久留米消防団第八分団員、東久留米青年会議所会員、
その他多数の団体に所属し活動中

ひきま 太一 オフィシャルHP

ひきま 太一

https://hikimataichi.com



市民の皆さんの声
市政に届けます

3年目の活動

市政報告は裏面へ

問い合わせ先

ひきま 太一 後援会事務所

〒203-0052 東久留米市幸町4丁目4-4 シャルール301
連絡先: 090-9800-3649 mail:hikimataichi@gmail.com

HTT

電力を
へらす
つくる
ためる

①減らす・①創る・①蓄める
ただいま節電アクション実施中

ご理解とご協力をお願いします



Tokyo Tokyo



Tokyo Cool
Home & Biz

東京都

市議会活動報告（令和3年6月・9月・12月・令和4年3月）

今回の市政報告は活動の一部です。一般質問の全文をホームページにて公開中!!
また各定例会の質疑、答弁の映像をホームページからご覧いただけます。

ひきま 太一オフィシャルHP

ひきま 太一

https://hikimataichi.com



令和3年度 第二回定例会（一般質問） 質疑

【子どもが健やかに育つ環境整備を】

ひきま 質問:市内の公園の遊具が老朽化により撤去される際は、事前に市民へ状況を知らせる対応を行うべきと思うがいかがか。

市側答弁:これまでは撤去に関するお知らせ等は行ってないが、今後看板等の設置や貼り紙、市ホームページの活用など、市民周知を図るようお知らせの内容も含め、担当課内で検討したいと考えている。

ひきま 質問:さまざまな理由でマスクを着用できない小・中学生がいる。マスクを外した児童・生徒がいじめられたりする状況があると聞いたが、このことについてどのように考えているか。

市側答弁:これまでも国や都の資料を活用し、感染症に対する差別・偏見の防止の徹底やマスク着用に関する正しい理解の促進を図ってきた。今後も養護教諭に直接働き掛けを行うなどして、差別・偏見等の解消に努めていきたい。

令和3年第2回定例会 6月11日 本会議 一般質問映像



- 1 市行政について
 - (1) 河川監視カメラ等について
 - (2) 市内公園について
 - (3) 小規模保育施設について
 - (4) 南沢通りについて
 - (5) 傘のシェアリングサービスの導入について
 - (6) 新型コロナワクチン接種事業について
- 2 教育行政について
 - (1) 市内小中学生のマスク着用について

令和3年度 第四回定例会（一般質問） 質疑

【変化に対応し、その先の日常へ】

ひきま 質問:現時点では、接種証明書（ワクチンパスポート）は、海外渡航向けとして発行しているが、電子交付が実現すると取得が容易になるので、国内向けに発行するなどの見直しはあるのか。

市側答弁:9月日付のデジタル庁・厚生22労働省連名の通知によると、海外渡航向けに限定して発行している取り扱いを見直すことも想定しているが、現時点では電子交付の実現前に見直すことはないとのこと。

ひきま 質問:どのような状況になれば以前のような学校行事が実施できるのか。

市側答弁:行事などの実施方法は、各小・中学校が本市のガイドラインに即して決めているが、行事そのものの実施については、緊急事態措置や蔓延防止等重点措置の適用状況や本市における新型コロナウイルス感染症の状況を的確に捉え、教育委員会が学校と連携して決定している。

令和3年第4回定例会 11月30日 本会議 一般質問映像



- 1 市行政について
 - (1) ワクチンパスポートについて
 - (2) 所沢街道について
 - (3) 市内公園の環境整備について
 - (4) 市で予定していく今後の行事について
 - (5) 南沢通りについて
- 2 教育行政について
 - (1) 今後の学校行事について

令和3年度 第三回定例会（一般質問） 質疑

【毎年起こる豪雨に備えて!】

ひきま 質問:市内の土砂災害危険箇所について、
①警戒区域の数は、②市民への周知は、③黒目川および落合川周辺の浸水予想区域や急傾斜地崩壊危険区域などを含めた周辺の住民に配布した「安心くるめーる」登録案内のチラシについて伺う。

市側答弁:①神宝町1カ所、金山町1カ所、浅間町3カ所、小山4カ所、南沢1所、野火止4カ所の計カ所。②都が14平成1月に土砂災害警戒区域の指30定と公表を行ったことを踏まえ、市洪水ハザードマップへ反映、周知を行った。③対象となる下田自治会および富士ヶ丘自治会に7月下旬から配布を依頼するとともに、その他の対象地域への配布は職員が各家庭へ直接行った。河川・降雨の状況や避難所の開設、避難指示など情報を正確に遅滞なく取得でき、適切で速やかな避難行動につながることを記載している。

令和3年第3回定例会 9月3日 本会議 一般質問映像



- 1 市行政について
 - (1) 市内土砂災害危険箇所について
 - (2) 東久留米市PV「東京別世界東久留米」について
 - (3) プレミアム付商品券について
- 2 教育行政について
 - (1) 市内小学校の移動教室について

令和4年度 第一回定例会（一般質問） 質疑

【新しいサービス導入により豊かに!】

ひきま 質問:出産・育児におけるハンディキャップの解消を目的に、子どもを産み育てやすい社会の実現を目指すベビーファースト運動を本市においても取り組んでもらいたいが見解を伺う。

市側答弁:母子保健を所管する担当としては、その趣旨に即した理念を持って事業実施にあたっているが、都や他団体の動向を注視していきたい。

ひきま 要望:他市の動向も大事だが、本市には近隣市を引っ張っていくリーダーとして取り組んでもらいたい。

ひきま 質問:仮想空間（メタバース）を活用した行政サービスの検討ができないか。

市側答弁:先進自治体の取り組みを注視し、仮想空間を活用した行政サービスを提供することによる利点・効果等を見ていきたい。

ひきま 要望:調査・研究するとともに国・都・他自治体と連携し、遅れを取らないようにしてもらいたい。

令和4年第1回定例会 3月8日 本会議 一般質問映像



- 1 教育行政について
 - (1) 北京オリンピック日本代表川村あんり選手（東久留米市出身）について
- 2 市行政について
 - (1) 市内不審者発生状況と対応策について
 - (2) ベビーファースト運動について
 - (3) 仮想空間を用いた行政サービス等について



東久留米駅にてウクライナ支援募金活動を東久留米青年会議所のメンバーとして行いました。多くの皆様から支援金をいただきました!ありがとうございました。
※募金合計金額94,091円をワールド・ビジョン・ジャパンへ送金いたしました。



ピリカは世界最大級のゴミ拾い&社会貢献アプリで、ゴミを拾う様子を写真とコメント付きでアップする事で、みんなで刺激し合いゴミ拾い活動が活発化していきます。私もユーザーの一人としてゴミ拾いの様子をアップさせてもらってます!皆様も是非試してみてください。

